

論文審査の結果の要旨

平成 28 年 3 月 14 日

氏 名： 曹 金波

論文題目： 日本語教育におけるオノマトペの研究

—その学習内容と指導プロセスの構築を中心に—

本研究は、中国大学日本語教育においてその重要性は広く認識されながらも教授項目としては焦点化されてこなかった「日本語オノマトペ」を取り上げ、その教授可能性を検証するためになされた実証研究をまとめたものである。

具体的には、第一に、教授対象としてのオノマトペ 286 語を、国立国語研究所の書き言葉均衡コーパスや日本と中国で出版された日本語の教科書、日本語能力試験シラバスなどの調査によって選定し、第二に、オノマトペのコロケーション（文中の共起語）と基本的な意味、使用頻度の高い意味、多義的なオノマトペについての調査により、日本語オノマトペのシソーラスを構築した。第三に、これらを踏まえ、日本語能力別のオノマトペ指導法の構築を目指した実践研究を行い、日本語オノマトペの教授可能性を検証した。

本審査委員会は、本論文に対して、以下の点から評価をした。

1. 先行研究の綿密なレビューとコーパスを使った日本語オノマトペのコロケーションの調査は日本語学の領域におけるコロケーション研究の前進に大きく寄与する。
2. 本研究で提出されている日本語オノマトペのコロケーション、シソーラスは自然な日本語の習得のためのリソースとして意義がある。同時に、近年重視されるようになってきた自律学習の促進にも大きく貢献する。
3. 中国大学日本語教育において全く取り上げられていない日本語オノマトペの指導法・学習法を系統的・総合的に論じた点で教育現場に対する高い還元力を有する。
4. 長編の論文でありながら、論文全体を通して論の展開がスムーズで一貫性があり高い説得力を有する。
5. 日本語学と日本語教育学の二つの領域にまたがる極めて意欲的な研究である。

本審査委員会は提出論文に対して一様に高い評価を与えた。口述審査会においては、本研究の要点を的確に提示し、審査委員からの質問については自信を持って自身の考えを述べた。

提出論文も口述審査も満足すべきものであり、博士の学位に十分値するものと判断して合格とした。

主査： 人文科学研究科 岡崎 眸

副査： 人文科学研究科 吉田 朋彦
副査： 人文科学研究科 綾部 裕子
副査： 人文科学研究科 原 やす江
副査： 人文科学研究科 芳賀 浩一
副査： 大連外国語大学 陳 岩